



「名前」と聞いて最初にイメージするのは「人名」という方も多いのではないのでしょうか。まずは人名に関する本を2冊紹介します。

- 『ペンネームの由来事典』 紀田 順一郎／著 東京堂出版
江戸川乱歩がアメリカの詩人エドガー・アラン・ポーをもじったものである、ということは有名な話。では「阿佐田哲也」の由来は何でしょう？

他にも直木賞の元になっている「直木三十五」命名の理由など、文豪たちの秘密を紹介。自分で考え抜いたりお世話になった方につけて貰ったり。名前を悩んでいる様子を想像すると、文豪がちょっと身近に感じます。



- 『サイン・署名のつくり方』

署名ドットコム／著・林 斌／監修 スモール出版

スポーツ選手や芸能人のサイン、個性があって面白いですね。海外などではハンコの代わりにサインを記入する機会も多いもの。日本でも宅配便の受取り等で使用出来ます。皆さんも自分のオリジナルサインを作ってみませんか？
アルファベットだけでなく漢字のサインのノウハウも満載。見た目にもカッコイイ形を作れるようになる7つのテクニックで、自慢できるサインの完成です。

今まで
なかった！
サイン作成本
です



続いて紹介するジャンルは「地名」。
「さいたま市」も合併により誕生した名前です。

● 『日本の地名雑学事典 地理と地図が大好きな人のための』
浅井 建爾／著 日本実業出版社

地名は昔から引き継がれてきたもの、という気がしますが、企業名からついたものも多いことをご存知ですか？トヨタ自動車による豊田市トヨタ町その他、日本パルプの旭川市パルプ町、小野田セメントの山陽小野田市セメント町・硫酸町なんて地名も。
明日の話のネタに困らない146の雑学で、読み物としても楽しめる一冊です。

新しく作る名前の代表、新商品のネーミング秘話はいかが？

● 『ネーミング全史 商品名が主役に躍り出た』
岩永 嘉弘／著 日本経済新聞出版社

新しいものを生み出す時、必ず名前も必要になります。それが商品であれば特に力を入れなくてはならないもの。その名前のセンスによって売れ行きが左右されるからです。「広告のすべての手練手管は、ネーミングを覚えさせるためにある」とは著者の言葉。もしこの名前でなかったら売れてなかったかも…と想像すると、いかに大事かが分かります。



見えないものにも名前があるぞ。

● 『風の名前』
高橋 順子／文・佐藤 秀明／写真 小学館

北風が強くなってくるこの季節。日本には風を表す語もたくさんありますね。それぞれの風名の解説だけでなく、風の出ってくる俳句や美しい日本の風景の写真も載っています。この本を読めば、風が見えるようになるかも！？



編集・発行：さいたま市立与野図書館 平成29年12月

さいたま市中央区下落合5-11-11 TEL 048-853-7816 FAX 048-857-1946